Libera plus 43/118

取扱説明書

Olsberg

1. はじめに 3
2. 仕様 3
3. ガイドライン 3
4. 煙突の設計 3
5. 燃焼用空気の給気 3
6. ストーブの設置 4
7. 組み立て方法 4
8. 始動と運転 4
8.1 燃料 4
8.2 初めて加熱する前は以下にご 注意下さい 4
8.3 操作パネル 5
8.4 着火方法 5
8.5 暖房運転 5
8.5.1 メニュー項目：POWER（強さ） 5
8.5.2 メニュー項目：SET.T.ROOM（室温設定） 5
8.5.3 メニュー項目： AIR SPEED（送風速度） 6
9. 消火 6
9.1 メッセージ：FINAL CLEANING（終了時クリーニング） 6
9.2 メッセージ：EMPTY BRASIER（燃焼皿掃除） 6
10. 運転メニュー 6
10.1 運転メニューの表示方法 6
10.2. SET WORK（運転設定）メニュー 7
10.3 TIMER（タイマー）メニュー 7
10.4 SET STOVE（ストーブ設定）メニュー 7
10.4.1 TIME（時間） 7
10.4.2 DATE（日付） 7
10.4.3 LANGUAGE（言語） 8
10.4.4 MENU TYPE（表示種類） 8
10.4.5 STANDBY（スタンバイ） 8
10.4.6 STATUS BUZZER（警告ブザー） 9
10.4.7 NIGHT TIME REDUCTION (夜間設定) 9
10.4.8 BLOCK BUTTONS（キーブロック） 9
10.4.9 RESET（リセット） 9
10.4.10 ECONOMY（エコノミー） 10
11. 運転時間の表示 10
12. 運転データの表示 10
13. リモコン 10
14. 警告メッセージ 11
14.1. 警告メッセージのリセット 11
14.2. 警告メッセージ：SMOKE TEMP.（排煙温度） 11
14.3. 警告メッセージ：NO IGNITION（未着火） 11
14.4. 警告メッセージ： THERMAL（温度異常） 12
14.5. 警告メッセージ：UNDERPRESSURE（圧力不足） 12
14.6. 警告メッセージ：PELLET TEMP.（ペレット温度異常） 12
14.7. 警告メッセージ：SMOKE FAN（排煙ファン異常） 12
14.8. 警告メッセージ：PELLET PROBE（ペレットセンサー異常）又はSMOKE PROBE（排煙センサー異常） 12
14.9. 警告メッセージ：BLACK OUT（停電） 12
15. 掃除 12
15.1 CLEAN STOVE（本体掃除）機能 13
15.2 大掃除 13
16. 定期メンテナンス 13
18. 設置確認証明書 13

1. はじめに

このたびはオルスバーグのストーブをお買い上げいたたきまして誠にありがとうございます。
ご使用の前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

本書は、暖房が必要な季節になる前に目を通すことができるよう、安全な場所に大事に保管しておいてください。

このペレットストーブは、近代的暖房技術から生まれた高品質のストーブです。

簡単操作、最新調節技術、効率的な燃焼技術が融合し、ストーブの心地よい雰囲気を壊すことなく上質な暖房装置としてお使いいただけます。

ストーブを長く使用するためには、設置や取り扱い、および手入れを正しく行うことが不可欠です。本書の記載事項をすべて守り、本機を存分にお楽しみください。

- 本書は設置後に、ストーブを使用する方に渡してください。操作をする方は、個別に操作方法の説明を受けてください。
- 本書は大切に保管し、ストーブの所有者が変わるごとに必ず新しい所有者にお渡しください。
- 本書にはメンテナンスについても記載されていますので、メンテナンスを担当する技術者にもお渡しください。

本書に記載されている指示が守られていない場合、当社は責任を負いかねます。本機は本来の目的以外の不適切な使い方をしないようお願いします。

ストーブを長く使用するためには、設置や取り扱い、および手入れを正しく行うことが不可欠です。本書の記載事項をすべて守り、本機を存分にお楽しみください。

万一、輸送中に生じた破損にお気づきになりましたら直ちに販売店にお知らせください。直ちにお知らせいただけない場合には無償対応の対象外となりますのでご了承ください。

本機は、体力や感覚、知能に衰えがある方、使用する際の経験や知識が不足している方(子どもを含む)が操作することを意図したものではありません。安全のため、使用に際しては監視や指導を実施してください。お子様のいたずらや怪我を避けるため管理をお願いします。

2. 仕様

-	定格出力	[kW]	8.5
-	煙突径	[mm]	80
-	外気取入口径	[mm]	80
-	重量	[kg]	138
-	ペレットホッパー容量	[kg]	~19
-	ペレット消費出力	[kg/hr]	~2.0
-	運転方式		継続燃焼

3. ガイドライン

- ストーブ設置、煙突工事は建築基準法及び消防法に従ってください。
- ストーブの設置と煙突工事は専門業者に依頼してください。また、配管を安全に行うため、国内で定められた関連の法規を遵守してください。
- 本機は、DIN-EN14785と15a-BVG(オーストリア民法)に適合しています。

燃焼用空気は十分に取り入れられるようにしてください。専門的な助言は煙突メンテナンス業者、ストーブ販売専門業者、または専門の技術者にお尋ねください。

4. 煙突の設計

煙突は、欧州規格 DIN EN 13384-2（煙突関連規格）および/またはその特定の国内法規に準拠して設計されています。

必須情報

●	定格出力	[kW]	8.5
●	排気煙量	[g/秒]	6.4
●	排気温度	[℃]	158
●	出口圧力	[Pa]	0

送出圧力が20Paを超える場合は、排気コネクタに送出圧力制限装置（煙突内の補助的な空気安定装置など）を設置してください。

煙突の数値を出す際には、排気コネクタにおける必要な送出圧力を0 Paに設定してください。

複数の煙突接続が必要であれば特別に設計も可能ですので、煙突取り付け専門業者にお問い合わせください。

5. 燃焼用空気の給気

十分な燃焼用空気が送られるようにしてください。

燃焼用空気は、ストーブを設置した部屋から給気することもできますし、本体に燃焼用空気の取入れ管を直接つないで地下室や屋外から給気することもできます。

ストーブパイプは、シールリップ付き（D=80mm）をお勧めします。

重要事項

- 暖房中は、燃焼用空気の吸気口と対流用の開口部を閉じたり塞いだりしないでください。
- 周囲に換気用の装置やフードがある場合には、安全装置を設置し、煙突ストーブが安全に使えるようにしてください。
- 同時に使用する場合、設置した室内の気圧が外気圧と比較して4 パスカル（Pa）を超えないようにしてください。

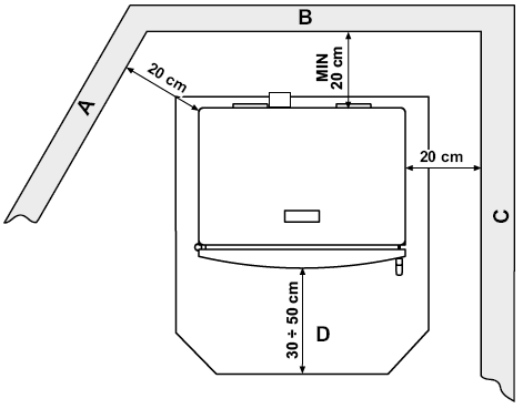
6. ストーブの設置

ストーブを設置する床は、平らで水平で、ストーブの重量に十分に耐えられることが必要です。また、床材を保護するためにストーブの下に金属製のシートかガラス板を敷くと良いでしょう。床材やカーペットが可燃性の場合、燃焼室の開口部の縁から前50cm、両横30cmを覆うように堅固な耐熱材を敷いてください。

7. 組み立て方法

- 正確な設置場所を決めます。ストーブの熱が輻射される範囲内、すなわち点検窓から80cm以内に可燃性のものや材料を置いたり保管したりしないでください。

本体と可燃材製の壁や支持壁との離隔距離は下図のとおりです。



A =隣接する壁
B =後ろの壁
C =横の壁
D =床の保護

- 煙突にパイプライニングを付けます（現場設置）。接続の高さは、個別に指定できます（ただし、連結管から1.5mが上限）。途中に可燃性材料がある場合、可燃性材料はストーブパイプの半径20cm以内にないこと。
- 煙突ストーブのD=80 mm径の連結管にストーブパイプを(現場で)接続します。
- 所定の設置位置まで煙突ストーブを挿入し、ストーブパイプがパイプライニングにはまるように調整します。

重要事項:

- ストーブパイプの接続部分は、漏れがないようにしっかりと密閉してください。
  ストーブパイプは、シールリップ付きストーブパイプをお勧めします。
- 接続パイプを掃除する際には弓形の掃除用具を使用してください。
- ストーブパイプは煙突の中に入りこまないようにしてください。
- 欧州の試験規格EN13240によれば、周囲の壁や炉台は85℃まで達する可能性があり、壁紙、コルクやそれに類する建材の床仕上げ材が変色する場合がありますのでご注意ください。

8. 始動と運転

- 煙突式ペレットストーブの本体にある差し込みプラグを100Vコンセント（ブレーカー経由配線）に差し込みます。
- 本体の背面にある電源スイッチを「I」に入れます。

- 信号音が鳴り、ディスプレイが表示されます。
- ペレットをペレットコンテナに入れます。
- 使用言語の選択については10.4.3 をご覧ください。

8.1 燃料

- 本機で使用できる燃料は、認証制度DINplus又はオーストリア規格M7135に対応する以下のペレットです。
  最大厚さ= 7 mm
  最大長さ= 30 mm
  最大含水量10%
- ペレットは埃のない乾燥したところに保管してください。
- 本体のペレットコンテナにペレットを入れる際は、コンテナにおがくずがたまっていないか注意してください。

8.2 初めて加熱する前は以下にご注意下さい

- 灰受け皿と燃焼室からすべての備品を取り出してください。
- ストーブを数時間燃やすと、防食塗装の蒸発に伴う悪臭がなくなります（部屋を十分に換気してください）。
- ストーブには高品質の耐熱性のコーティングが施されていますが、このコーティングはストーブが加熱されて初めて最終的な強度に達します。
  - 従って、塗料のコーティングが破損するおそれがありますので、ストーブに何かを置いたままにしたり、ストーブの表面を触ったりしないでください。
- ストーブの運転は必ず燃焼室の扉を閉じた状態で行ってください。
- 高温の灰を取り出さないでください。また、灰は、必ず耐火性、不燃性の容器に保管してください。

- **重要事項**:
  ストーブ表面は高温になりますので注意してください！
- 燃焼用空気供給への安全装置を変更することはできません。
- ストーブが新しいと
  (または、ペレット容器が完全に空のとき)、ペレットを容器からストーブ内部に送り出すまでに数分かかるため、着火に時間が掛かる場合があります。

8.3 操作パネル

暖房、サービス、メンテナンスの設定はすべて操作パネルで行います。
コマンドは、操作パネルにある4個のボタンを使って入力します。
操作パラメータはすべてディスプレイに表示されます。

4個のボタン機能は以下のとおりです。

ON (ok) =開始/変更決定
OFF (x) =切 / 入力モードの終了 / 高機能操作への変更
=レベル変更 / 表示値の上方修正
=レベル変更/表示値の下方修正

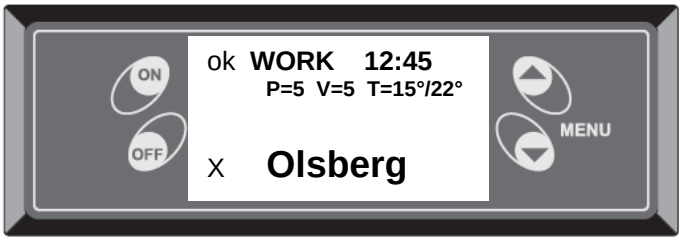
8.4 着火方法

- 着火は**ON**ボタンを数秒間長押しします。
- **WAIT FLAME (着火待機)** というメッセージがディスプレイに表示されます。このとき、燃焼皿にあるペレットに自動的に着火しています。

- ペレットに着火すると**PRESENT FLAME (着火)** というメッセージが表示されます。
- 適切な燃焼温度に達すると、暖房運転に切り替わります。

8.5 暖房運転

- 着火すると**WORK/MODULING (運転/モジュール)** というメッセージがディスプレイに表示されます。



- 暖房運転は入力した設定に従って自動的に調節されます。
- 以下の運転パラメータが**WORK (運転)** とともにディスプレイに表示されます。

P = 火力設定レベル
V = 対流ファンの回転速度
T = 実際の室温 / 設定室温

運転パラメータの表示種類にはROLLINGあるいはSHORT (スクロールとショート) の2種類があります。

ROLLING (スクロール) :
操作パラメータがディスプレイに次々と表示されます。

SHORT (ショート) :
すべての操作パラメータが同時にディスプレイに表示されます(図を参照)。

出荷時は**スクロール**の設定になっています。

設定した室温に達すると、選択したディスプレイの表示種類によって、次のメッセージがディスプレイに表示されます。

ROLLING (スクロール) の場合:
THERMOSTAT ON (サーモスタットON)

SHORT (ショート) の場合:
表示された温度の値**T**が点滅します。

また、**MODULAR OPERATION (モジュール運転)** というメッセージも表示されます。

8.5.1 メニュー項目 : POWER (強さ)

レベル**1～5**と**A**(自動)から、希望する暖房モードを設定します。

設定方法:スクロールモードでディスプレイに**POWER (強さ)** と表示された場合、温度を上げるにはボタン、下げるにはボタンを押します。ショートモードでは、設定は**SET WORK (運転設定)** メニューで行います(11.2を参照)。

制御の特性:
自動レベル**A**の場合、設定した室温に達すると、暖房の強さが1レベル下に切り替わります。つまり、5であった場合には4、さらに3、2、1と切り替わります。逆に暖房が必要な場合には、1から2へ、さらに3、4、5と切り替わります。
暖房の強さ (例えばレベル4) を手動で選択した場合、レベル4からレベル1、レベル1からレベル4へと2～3を飛ばして直接切り替えることができます。

電源がOFFになるのは、**STANDBY (スタンバイ)** 運転が**ON**に設定される場合のみです。

8.5.2 メニュー項目 : SET.T.ROOM (室温設定)

L (低) 、10～40℃、H (高) の中から室温を設定します。

設定方法：スクロールモードでディスプレイに**SET T. ROOM（室温設定）**と表示された場合、室温を上げるには▲ボタン、下げるには▼ボタンを押します。
ショートモードでは、設定は**SET WORK（運転設定）**メニューで行います(11.2を参照)。

設定した室温に達すると同時に運転を自動的に停止します。
ディスプレイには**MODUL.BETRIEB（モジュール運転）**と**THERMOSTAT ON（サーモスタットON）**というメッセージが表示されます。

重要事項：
本体の電源を切ったり停電したりしても、設定値は保存されます。

8.5.3 メニュー項目： AIR SPEED（送風速度）

レベル**1**から**5**と**A**（自動）から、希望する対流ファンの回転速度を設定します。

設定方法：スクロールモードで**AIR SPEED（送風速度）**と表示された場合、速度を上げるには▲ボタン、下げるには▼ボタンを押します。
ショートモードでは、設定は**SET WORK（運転設定）**メニューで行います(11.2を参照)。

換気レベルを超えた熱が発生し、一定の温度を超えた場合、対流ファンは自動的に最高速度で回転します。
ディスプレイには、V=Eというメッセージが表示されます。

9. 消火

- 消火するときには**OFF**ボタンを数秒間長押しします。
  FINAL CLEANING（終了時クリーニング）
  というメッセージがディスプレイに表示されます。

- 所定の時間排気が続き、安全に排気を排出し本体の温度を下げます。
  排気時間は約6分間です。

- 対流ファンは排気温度が70℃より低くなるまで動作します。
- その後、完全に温度が下がるまで再び着火することはできません。
- 適正の動作で完全に温度が下がると、**OFF**とディスプレイに表示されます。
- 適正な動作で完全に冷却する前に着火しようとすると、
  FINAL CLEANING（終了時クリーニング）
  というメッセージがディスプレイに表示されます。
- **WARNING CLEAN FIREPAN（火床掃除）**などのメッセージやアラームはすべて、**OFF**ボタンを押してリセットすることができます。

9.1 メッセージ：FINAL CLEANING（終了時クリーニング）

着火している状態で**OFF**ボタンを押して消火すると、**FINAL CLEANING（終了時クリーニング）**というメッセージが表示され信号音が鳴ります。
排気用ファンが約4分間最高速度で動作します。

この時**ON**ボタンは機能しません。

数分後に本体の温度が下がると、**OFF**に切り替わります。

OFFに切り替わったら、**ON**ボタンを押して再度点火が可能となります。

9.2 メッセージ：EMPTY BRASIER（燃焼皿掃除）

毎回着火する前に燃焼皿が掃除されていることを確認するメッセージです。
ストーブの燃焼皿に燃えカスなどが残っていないほうが適正に燃焼します。

このメッセージは、**OFF**ボタンを押してリセットします。

10. 運転メニュー

本機に必要な設定はすべて運転メニューから入力することができます。

設定を行うことができるメニューは以下の通りです。

- **SET WORK（運転設定）**
- **TIMER（タイマー）**
- **SET STOVE（ストーブ設定）**

10.1 運転メニューの表示方法

- ▲ボタンと▼ボタンを同時に押します。
  ディスプレイに**MENU SET WORK（メニュー設定操作）**というメッセージが表示されます。
- ▼ボタンを押すと**TIMER（タイマー）**か**SET STOVE（ストーブ設定）**を選択することができます。
- ディスプレイに表示されているメニューに入るには**ON**ボタンを押します。設定するパラメータは**ON**ボタンで選択します。パラメータが点滅していたら、そのパラメータは▲ボタンと▼ボタンで設定することができます。

- **ON**ボタンを押して決定します。

メニューを**終了**するには以下の操作を行ってください。

- **OFF**ボタンを押してメニューを終了します。
- **OFF**ボタンを押して**SET STOVE（ストーブ設定）**
  メニューを終了します。

10.2. SET WORK（運転設定）メニュー

以下の運転パラメータの設定するメニューです。

P = Heating performance
V = convection ventilator rotation speed
T = Desired room temperature

例：Pのパラメータを設定する場合

- ▲ボタンと▼ボタンを同時に押します。ディスプレイに**MENU SET WORK（メニュー設定操作）**というメッセージが表示されます。
- **ON**ボタンを押してメニューに入ります。
- **ON**ボタンで**P**のパラメータを選択します。
- パラメータが点滅していたら、そのパラメータは▲ボタンと▼ボタンで設定することができます。
- **ON**ボタンを押して決定します。

メニューを**終了**するには以下の操作を行ってください。

- **OFF**ボタンを押してメニューを終了します。
  OFFボタンを押して**SET STOVE（ストーブ設定）**
  メニューを終了します。

10.3 TIMER（タイマー）メニュー

自動着火 / 消火を設定するメニューです。日ごとに6種類のプログラム(P1からP6)を設定することができます。
選択した暖房時間の室温を10℃~30℃に設定することができます。
室温が設定されていないと、**SET WORK（運転設定）**メニューで設定されている室温になります。

- ▲ボタンと▼ボタンを同時に押します。
  ディスプレイに**MENU SET WORK（メニュー設定操作）**
  というメッセージが表示されます。
- ▼ボタンを押します。
  ディスプレイに**TIMER（タイマー）**というメッセージが表示されます。
- **ON**ボタンを押してメニューに入ります。
- 右側にある▲ボタン又は▼ボタンを押すと、P1からP6の設定を選択することができます。
- **ON**ボタンを押すと1つめのパラメータが点滅します。
- ▲ボタン又は▼ボタンを使って、**ON**か**OFF**、又は10℃から30℃の範囲の室温を選択し、**ON**ボタンを押して決定します。
- **ON**ボタンを押して**START TIME（開始時刻）**と**STOP TIME（停止時刻）**を選択し、▲ボタン又は▼ボタンで正確な時間を設定します。
- **ON**ボタンを押して曜日を選択し、▲ボタン又は▼ボタンを使って切り替え時刻を有効にします。
  有効にすると、ディスプレイの曜日の横に黒丸が表示されます。

メニューを**終了**するには以下の操作を行ってください。

- **OFF**ボタンを押してメニューを終了します。
- **OFF**ボタンを押して**SET STOVE（ストーブ設定）**
  メニューを終了します。

着火や消火については正確な時間の代わりに**OFF**を選択することができます（00:00か23:50の設定後）。着火時間を**OFF**にすると本体の電源は入りません。消火時間を**OFF**にすると本体の電源は切れません。
この設定は、着火時間のみ、または消火時間のみを設定する場合に便利です。

10.4 SET STOVE（ストーブ設定）メニュー

以下のサブメニューでパラメータを調整するメニューです。

10.4.1 TIME（時間）

曜日と現在時刻の設定

- ▲ボタンと▼ボタンを同時に押します。
  ディスプレイに**MENU SET WORK（メニュー設定操作）**
  というメッセージが表示されます。
- ▼ボタンを2回押します。
  ディスプレイに**SET STOVE（ストーブ設定）**
  というメッセージが表示されます。
- **ON**ボタンを押してメニューに入ります。
- **ON**ボタンを押して設定を表示します。
  現在の曜日設定が点滅します。
- ▲ボタン又は▼ボタンで曜日を変更します。
- **ON**ボタンを押して決定し、次のパラメータに移動します。

メニューを**終了**するには以下の操作を行ってください。

- **OFF**ボタンを押して**TIME（時間）**メニューを終了します。
- **OFF**ボタンを押して**SET STOVE（ストーブ設定）**
  メニューを終了します。

10.4.2 DATE（日付）

現在の日付設定

- ▲ボタンと▼ボタンを同時に押します。

ディスプレイに**MENU SET WORK（メニュー設定操作）**
というメッセージが表示されます。

- ▼ボタンを2回押します。
  ディスプレイに**SET STOVE（ストーブ設定）**
  というメッセージが表示されます。
- **ON**ボタンを押してメニューに入ります。
- ▲ボタン又は▼ボタンを押して**DATE（日付）**
  を選択します。
- **ON**ボタンを押して設定に入ります。
  現在の日付設定が点滅します。
- ▲ボタン又は▼ボタンを使って日付を変更します。
- **ON**ボタンを押して決定し、次のパラメータに移動します。

メニューを**終了**するには以下の操作を行ってください。

- **OFF**ボタンを押して**DATE（日付）**メニューを終了します。
- **OFF**ボタンを押して**SET STOVE（ストーブ設定）**
  メニューを終了します。

10.4.3 LANGUAGE（言語）

使用言語の設定
選択できる言語：ドイツ語、英語、フランス語、スペイン語、イタリア語

- ▲ボタンと▼ボタンを同時に押します。
  ディスプレイに**MENU SET WORK（メニュー設定操作）**
  というメッセージが表示されます。
- ▼ボタンを2回押します。
  ディスプレイに**SET STOVE（ストーブ設定）**
  というメッセージが表示されます。
- **ON**ボタンを押してメニューに入ります。
- ▲ボタン又は▼ボタンを押して**LANGUAGE（言語）**を選択します。
- **ON**ボタンを押して設定を表示します。
  現在の言語設定が点滅します。
- ▲ボタン又は▼ボタンを使って言語を変更します。
- **ON**ボタンを押して決定します。

メニューを**終了**するには以下の操作を行ってください。

- **OFF**ボタンを押して**LANGUAGE（言語）**メニューを終了します。
- **OFF**ボタンを押して**SET STOVE（ストーブ設定）**
  メニューを終了します。

10.4.4 MENU TYPE（表示種類）

運転パラメータ**P（火力）**、**V（対流ファンの回転速度）**、**T（設定室温）**の表示種類（スクロールか*ショート*のいずれか）を選択します。

スクロール:
設定パラメータがディスプレイに次々と表示されます。

また、現在の室温（又はバッファの温度）が表示され、室温（又はバッファの温度）が設定温度以上になると、**THERMOSTAT ON（サーモスタットON）**というメッセージが表示されます。

ショート:
すべての設定パラメータが同時にディスプレイに表示されます。

- ▲ボタンと▼ボタンを同時に押します。
  ディスプレイに**MENU SET WORK（メニュー設定操作）**
  というメッセージが表示されます。
- ▼ボタンを2回押します。
  ディスプレイに**SET STOVE（ストーブ設定）**
  というメッセージが表示されます。
- **ON**ボタンを押してメニューに入ります。
- **MENU TYPE（表示種類）**というメッセージが表示されるまで▼ボタンを長押しします。
- **ON**ボタンを押して設定を表示します。
  現在のメニュー表示種類の設定が点滅します。
- ▲ボタン又は▼ボタンを使ってメニュー表示種類を変更します。
- **ON**ボタンを押して決定します。

メニューを**終了**するには以下の操作を行ってください。

- **OFF**ボタンを押して**MENU TYPE（表示種類）**メニューを終了します。
- **OFF**ボタンを押して**SET STOVE（ストーブ設定）**メニューを終了します。

10.4.5 STANDBY（スタンバイ）

STANDBY（スタンバイ）モードのON/OFF切り替え、及び再びONになる温度を設定します。
STANDBYモードを**ON**にすると、室温又はバッファの温度が設定温度**t**になると電源が切れ、**STARTTEMPERATURE（運転開始温度）**の設定温度を下回ると再び電源が入ります。電源が入る温度と切れる温度の差は3°から6°の間で設定することができます。

例：

室温**SET T. ROOM（室温設定）**	= 22℃
STARTTEMPERATURE（運転開始温度）	= 16℃

この例の場合、電源は室温が22℃になると切れ、16℃に下がると再び入ります。

また、STANDBY（スタンバイ）モードを**OFF**にすると、設定温度になっても電源は切れず、最小火力でそのまま暖房し続けます。

- ▲ボタンと▼ボタンを同時に押します。
  ディスプレイに**MENU SET WORK（メニュー設定操作）**というメッセージが表示されます。
- ▼ボタンを2回押します。
  ディスプレイに**SET STOVE（ストーブ設定）**というメッセージが表示されます。
- **ON**ボタンを押してメニューを表示します。
- **STANDBY（スタンバイ）**というメッセージが表示されるま

で▼ボタンを長押しします。

- **ON**ボタンを押して設定に入ります。
  現在の設定が点滅します。
- ▲ボタンと▼ボタンを使って**ON**か**OFF**を選択します。
- **ON**ボタンを押して決定し、**STARTTEMPERATURE (運転開始温度)** に移動します。
- ▲ボタンと▼ボタンを使って**STARTTEMPERATURE (運転開始温度)** の設定を入力し (切り替えの温度差は3° ~ 6°)、**ON**ボタンを押して決定します。

メニューを**終了**するには以下の操作を行ってください。。

- **OFF**ボタンを押して**STANDBY (スタンバイ)** メニューを終了します。
- **OFF**ボタンを押して**SET STOVE (ストーブ設定)** メニューを終了します。

10.4.6 STATUS BUZZER (警告ブザー)

警告信号のON/OFFを設定します。
警告メッセージが表示されると、ブザーをOFFに設定していても警告信号は鳴り続けます。

- ▲ボタンと▼ボタンを同時に押します。
  ディスプレイに**MENU SET WORK (メニュー設定操作)** というメッセージが表示されます。
- ▼ボタンを2回押します。
  ディスプレイに**SET STOVE (ストーブ設定)** というメッセージが表示されます。
- **ON**ボタンを押してメニューに入ります。
- **STATUS BUZZER (警告ブザー)** というメッセージが表示されるまで▼ボタンを長押しします。
- **ON**ボタンを押してメニューを表示します。
- ▲ボタンと▼ボタンを使って**ON**か**OFF**を選択します。
- **ON**ボタンを押して決定します。

メニューを**終了**するには以下の操作を行ってください。

- **OFF**ボタンを押して**STATUS BUZZER (警告ブザー)** メニューを終了します。
- **OFF**ボタンを押して**SET STOVE (ストーブ設定)** メニューを終了します。

10.4.7 NIGHT TIME REDUCTION (夜間設定)

本体がOFFの状態でも、室温やバッファ温度を保つために自動でストーブがONになり設定温度を保持します。
ON/OFF切り替えを行う際の室温との温度差は原則として3℃です。

例:
夜間の温度設定10℃
室温が7℃になったら電源が入り、10℃になったら電源が切れます。
夜間の温度は、3℃から20℃又は**OFF**に設定することができます。

- ▲ボタンと▼ボタンを同時に押します。
  ディスプレイに**MENU SET WORK (メニュー設定操作)** というメッセージが表示されます。
- ▼ボタンを2回押します。
  ディスプレイに**SET STOVE (ストーブ設定)** というメッセージが表示されます。
- **ON**ボタンを押してメニューに入ります。
- **SET NIGHT T. (夜間温度設定)** というメッセージが表示されるまで▼ボタンを長押しします。
- **ON**ボタンを押してメニューを表示します。
  現在の運転モードが点滅します。
- ▲ボタンと▼ボタンを使って夜間の温度を設定するか**OFF**ボタンでこの機能を解除します。
- **ON**を押して決定します。

メニューを**終了**するには以下の操作を行ってください。

- **OFF**ボタンを押して**SET NIGHT T. (夜間温度設定)** メニューを終了します。
- **OFF**を押して**SET STOVE (ストーブ設定)** メニューを終了します。

10.4.8 BLOCK BUTTONS (キーブロック)

操作パネルのボタンをロックして、ボタン操作を無効にします。

- ▲ボタンと▼ボタンを同時に押します。
  ディスプレイに**MENU SET WORK (メニュー設定操作)** というメッセージが表示されます。
- ▼ボタンを2回押します。
  ディスプレイに**SET STOVE (ストーブ設定)** というメッセージが表示されます。
- **ON**ボタンを押してメニューに入ります。
- **KEYBLOCK (キーブロック)** というメッセージが表示されるまで▼ボタンを長押しします。
- **ON**ボタンを押してメニューを表示します。
  現在の運転モード**OFF**が点滅します。
- ▲ボタンと▼ボタンを使って**ON**か**OFF**を選択します。
- **ON**ボタンを押して決定します。

メニューを**終了**するには以下の操作を行ってください。

- **OFF**ボタンを押して**KEYLOCK (キーロック)** メニューを終了します。
- **OFF**ボタンを押して**SET STOVE (ストーブ設定)** メニューを終了します。

BLOCK BUTTONS (キーロック) 機能を起動又は解除する場合は、**ON**ボタンと**OFF**ボタンを同時に押します。

10.4.9 RESET (リセット)

すべての操作設定を出荷時の設定に戻します。
熱出力、**バッファ温度**、**室温**などの設定は変更されません。

- ▲ボタンと▼ボタンを同時に押します。

ディスプレイに**MENU SET WORK（メニュー設定操作）**というメッセージが表示されます。

- ▼ボタンを2回押します。
  ディスプレイに**SET STOVE（ストーブ設定）**というメッセージが表示されます。
- **ON**ボタンを押してメニューに入ります。
- **RESET（リセット）**というメッセージが表示されるまで▼ボタンを長押しします。
- **ON**ボタンを押してメニューに入ります。
  現在の設定**NEIN（NO）**が点滅します。
- ▲ボタンと▼ボタンを使って**YES**か**NO**を選択します。
- **ON**ボタンを押して決定します。

YESを選択して決定すると、**DONE（終了）**というメッセージが表示されます。

メニューを**終了**するには以下の操作を行ってください。

- **OFF**ボタンを押して**RESET（リセット）**メニューを終了します。
- **OFF**ボタンを押して**SET STOVE（ストーブ設定）**メニューを終了します。

10.4.10 ECONOMY（エコノミー）

自動火力設定**A**における最大火力設定5を1～4に下げる設定をします。

- ▲ボタンと▼ボタンを同時に押します。
  ディスプレイに**MENU SET WORK（メニュー設定操作）**というメッセージが表示されます。
- ▼ボタンを2回押します。
  ディスプレイに**SET STOVE（ストーブ設定）**というメッセージが表示されます。
- **ON**ボタンを押してメニューに入ります。
- **ECONOMY（エコノミー）**というメッセージが表示されるまで▼ボタンを長押しします。
- **ON**ボタンを押してメニューを表示します。
  現在の火力設定が点滅します。
- ▲ボタンと▼ボタンを使って最大火力の設定を変更します。
- **ON**ボタンを押して決定します。

メニューを**終了**するには以下の操作を行ってください。

- **OFF**ボタンを押して**ECONOMY（エコノミー）**メニューを終了します。
- **OFF**ボタンを押して**SET STOVE（ストーブ設定）**メニューを終了します。

11. 運転時間の表示

トップメニューで運転時間を表示することができます。

- ▲ボタンを押す = これまでの運転時間の表示
- ▼ボタンを押す = 次の定期点検までの運転時間の表示

12. 運転データの表示

ソフトウェアのバージョン、排煙の温度、火力設定など、現在の運転データをすべて検索することができます。

- **OFF**ボタンと▼ボタンを同時に押します。
- ▲ボタンと▼ボタンを使ってパラメータを選択します。

表示されるパラメータは以下のとおりです。

- 本機の型式 - ソフトウェアのバージョン
- 開始時間
- 排煙の温度
- 室温
- 設定室温
- 気流速度
- 排煙ファンの回転速度
- ペレットの温度
- 火力レベル01 = P1 / 04 = P2 / 08 = P3 / 012 = P4 / 016 = P5
- スクリューコンベア（回転時間 < 8.0”）
- 抵抗（着火関連部品）

13. リモコン

納入時、本体にリモコンが付属しています。

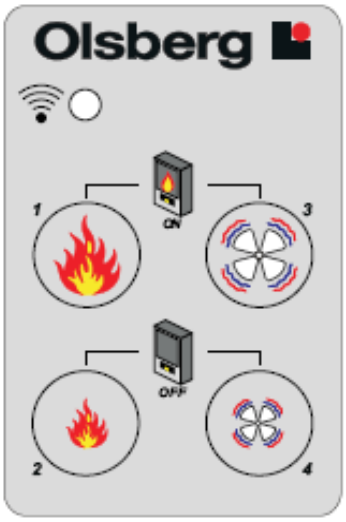
リモコンは赤外線式ですので、本体背面にある受光部に向けて操作してください。

リモコン操作が適切に動作しない場合、横位置に取り付けてある受光部を縦位置に変更してみてください。受光部センサーは必ず部屋の中心を向くように設置してください。

以下の設定はリモコンで操作することができます。

- 着火
- 消火
- 火力レベル設定Pの変更
- 対流ファンの回転速度設定Vの変更

出力を変更すると音が鳴ります。レベルA（自動）にすると3回音が鳴ります。
ボタンを押すとリモコンのコントロールランプが点滅します。



着火

ボタン**1**と**3**を同時に押します。

消火

ボタン**2**と**4**を同時に押します。

火力の変更

炎が描かれているボタンの一方又は両方を押します。

火力を強くする場合　　**1**

火力を弱くする場合　　**2**

対流ファンの速度の変更

ファンが描かれているボタンの一方又は両方を押します。

速度を速くする場合　　**3**

14. 警告メッセージ

運転に不具合が生じた場合、必ずディスプレイに警告メッセージが表示され、警告音が鳴ります。

ペレット供給は中断し、炉の温度が下がるまで排ガス換気装置と対流ファンは作動します。

14.1. 警告メッセージのリセット

不具合の原因が解決したら、ディスプレイの警告メッセージは次の手順でリセットすることができます。

- 本体の温度が完全に下がるまで待ちます。
- **OFF**ボタンを5秒間長押しし、警告メッセージをリセットします。
- **FINAL　CLEANING（終了時クリーニング）**というメッセージが表示されます。
- 適宜、燃焼室にある燃えカスを取り除いてください。
- **OFF**ボタンを押して**FINAL　CLEANING（終了時クリーニング）**のメッセージをリセットします。
- 本体を再起動します。

それでもすぐにエラーメッセージが表示される場合は、取り付け業者に連絡してください。

14.2. 警告メッセージ：SMOKE TEMP.（排煙温度）

本体の排煙の温度が安全運転に適切でない場合に表示されます。

考えられる原因：

- ペレット入れのペレットが空になった。
- ペレットの品質が悪い(湿っている等)
- 最低火力設定でペレットを送り出す速度が遅すぎる。
- 燃焼室の下にかすが溜まっている。
- 煙突のドラフトが高すぎるか低すぎる。

14.3. 警告メッセージ：NO IGNITION（未着火）

着火段階の最後で排煙の温度が安全な運転に適していない場合に表示されます。

考えられる原因：

- ペレット入れのペレットが空になった。
- ペレットの品質が悪い(湿っている等)
- 燃焼皿の下にかすが溜まっている。
- 煙突のドラフトが高すぎるか低すぎる。
- 着火エレメントに不具合がある。

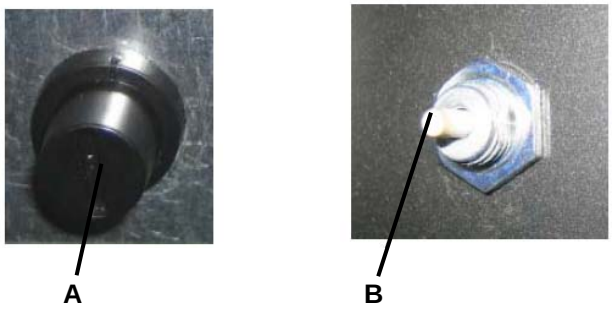
14.4. 警告メッセージ：THERMAL（温度異常）

ペレットコンテナ内の温度が高すぎる場合に表示されます。原因究明と安全温度リミッタのリセットは必ず専門業者に依頼してください。

考えられる原因：

- 最大火力設定でペレットを送り出す速度が速すぎる。
- 循環ポンプに欠陥があるか、循環ポンプが制御されていない。
- 熱風循環ファンの出口が塞がっている。
- 煙突のドラフトが高すぎる。

この警告メッセージが表示されると安全温度リミッタが作動します。



リセットは次の手順で行ってください。

- 本体の温度が完全に下がるまで待ちます。
- プラグを抜いて本体の電源を切ります。
- 本体の後ろにある安全温度リミッタの黒いキャップ(A)を取り、中にあるリセットボタン(B)を押します。

14.5. 警告メッセージ：UNDERPRESSURE（圧力不足）

排煙を安全に除去するのに排煙収集装置内の圧力が低過ぎる場合に表示されます。

考えられる原因：

- 煙突のドラフトが低すぎる。
- 下降気流が煙突から下って来ている。
- 大量の煤が溜まるなどして、排煙の通り道が細くなっている。
- 圧力セルに不具合がある。
- 圧力セルと排ガス収集装置をつなぐ管に不具合があるか、管がねじれているか、管が外れている。
- 燃焼用空気の給気が妨げられている。

14.6. 警告メッセージ：PELLET TEMP.（ペレット温度異常）

ペレット・センサーの温度が高くなりすぎる場合に表示されます。

原因究明は必ず専門業者に依頼してください。

考えられる原因：

- 最大火力設定でペレットを送り出す速度が速すぎる。
- 対流ファンの速度設定が低過ぎる。設置されている部屋に熱が十分に伝わっていない。
- 対流ファンの出口が塞がっている。
- 煙突のドラフトが高すぎる。

14.7. 警告メッセージ：SMOKE FAN（排煙ファン異常）

排煙ファンの運転に不具合がある場合に表示されます。

14.8. 警告メッセージ：PELLET PROBE（ペレットセンサー異常）又はSMOKE PROBE（排煙センサー異常）

いずれかのセンサーに不具合がある場合に表示されます。

14.9. 警告メッセージ：BLACK OUT（停電）

電源が20秒以上中断された場合に表示されます。

15. 掃除

本機を適切に運転させるためには、燃焼室と灰受けを常にきれいにしておくことが大変重要です。

- 掃除は、必ず本体温度が低いときに行ってください。
- 必ず灰の吸引に適した掃除機を使用してください。
- 定期的に煤や灰が溜まっていないか連結装置を確認してください。
- ガラスにはガラス専用クリーナーか炉用のスプレーを使用してください。研磨材料は使用しないでください。

燃焼皿を引き出します。

15.1 CLEAN STOVE（本体掃除）機能

本体の掃除をするための機能です。扉の動きにより風圧が生じ、ストーブが設置されている部屋に灰が舞い出るのを防ぎます。

- **OFF**ボタンを2秒間長押しします。
- 排煙ファンが最高速度で回転して燃焼室に負圧が生じます。そのため、灰が燃焼室から出ることはありません。
- 掃除が終了すると自動的に止まります。
- この動作は、**OFF**ボタンを押して中断することができます。

15.2 大掃除

暖房シーズン中、ストーブは少なくとも月に一回大掃除をしてください。

大掃除のときには、前述の掃除のほかに、燃焼室の後ろのパネルを外して、隠れている排煙ダクトの掃除もしてください。

バックパネルは以下の手順で外してください。

- 燃焼皿を引き出します。
- バックパネルを上げ、
  扉の方に引き、本体の前の方に取り出します。

16. 定期メンテナンス

ストーブを常に問題なく稼働させるため、毎年専門業者に定期的なメンテナンスを依頼してください。

2000時間運転するとディスプレイに**EXTRAORDINARY MAINTENANCE (定期メンテナンス)** というメッセージが表示されるようになっています。さらに、警告音も鳴ります。

本体の電源を入れるたびに警告音が鳴り、**EXTRAORDINARY MAINTENANCE (定期メンテナンス)** というメッセージと本体の運転状況がディスプレイに交互に表示されます。

このメッセージのリセットはストーブ管理者が行います。

定期メンテナンスは取り付け業者あるいは最寄りの専門業者と契約を結ぶことをお勧めします。

定期メンテナンスはストーブの効率を常に最適に保つようにする唯一の方法です。

定期メンテナンスが行われていることを証明できない場合、当社の補償対象外とさせていただくこともありますのでご了承ください。

17. 交換部品

以下にご注意ください。
必要な交換部品は必ず指定販売店からお求めください。また、交換部品は必ず所定のものをご使用ください。
ご注文に迅速に対応するため、本体の銘板に記載されている型式番号と製造番号を必ずお知らせください。

銘板はペレットコンテナの蓋の裏側にあります。
銘板に記載されている番号は、いつでもすぐに分かるように、ストーブを設置する前に以下に書きとめておくことをお勧めします。

型式番号: 43/_____

製造番号: _____

18. 設置確認証明書

設置確認人証明書には本機が適切に設置され始動したことを記録します。

ストーブを適切に運転するには専門家による使用方法の説明を受けることが基本要件です。

証明書の複写1通を弊社にお送りください。

設置確認証明書

所有者住所：

氏名/名称：

住所：

電話番号　　携帯電話番号

卸売業者住所：

氏名/名称：

住所：

電話番号　　携帯電話番号

最初に運転をした担当者の氏名：

装置名：　　品番：

製造番号：　　販売日：

煙突設計の数値の有無　　□ 有り　　□ 無し

（証明書に数値を示す文書を添付してください。）

設置日：

導入日：

備考：

オルスバーグ薪・ペレットストーブ　保証書

型番：

製品番号：

ご住所　〒

TEL　　(　　)

ご芳名　　様

★お買上げ年月日　　年　　月　　日

★お買上げ店名

住所　　〒

TEL　　(　　)

お買い上げになった日から起算して２年間。但し、外装品およびガスケット、火格子など消耗品は保証対象外となります。製造上の欠陥により故障のあった場合は無償にて故障部分を修理/交換いたします。

輸入販売元

〒113-0033　東京都文京区本郷６－１７－９
本郷綱ビル６F

オルスバーグジャパン株式会社

TEL 03-(5805)-5901 FAX 03-(5805)-5902

無償修理規定（必ずお読みください）

1. 取扱説明書などに従った正常な使用状態で故障した場合には保証期間内に於いて、販売店が無償修理いたします。
   保証期間内に故障して無償修理を受ける場合は本保証書を販売店にご提示ください。
   尚、離島並びに離島に準ずる遠隔地への出張修理の場合は、出張に要する実費を申し受けます。
2. ご転居・ご贈答等で、本保証書に記入してある販売店に修理がご依頼できない場合は弊社にご相談ください。
3. 保証内でも次の場合は有償修理となりますので予めご了承ください。
   イ) ご使用上の不注意、過失による不具合及び不当な修理や改造による故障又は損傷。
   口) お買上げ後の取り付け場所の移設、落下等による故障または損傷。
   八) 指定外の電源（電圧・周波数）で使用した場合の故障又は損傷。
   二) 火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷、その他天災地変、公害等による故障又は損傷。
   ホ) 業務用として長時間使用又は車両、船舶等に備品として搭載された場合の故障又は損傷。
   ヘ) 砂やほこり及びごみ等における不具合、故障又は損傷。
   ト) 本保証書にお買上げ年月日・お客様名・販売店名など、所定事項の記入がない場合、又は、記載字句を書き換えられた場合。
   チ) 本保証書の提示がない場合。
4. 保証修理、交換後の保障期間は最初の保証期間の残りの期間といたします。
5. 当製品の機能部品の供給は生産中止後10年間とします。
6. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
7. 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

オルスバーグジャパン株式会社

〔本　　社〕〒113-0033　東京都文京区本郷６－１７－９　本郷綱ビル６F
TEL ０３（５８０５）５９０１　FAX ０３（５８０５）５９０２

〔札幌営業所〕〒062-0042　札幌市豊平区福住2条10丁目1-10
TEL ０１１（８５３）９９００　FAX ０１１（８５３）９９１１

〔仙台営業所〕〒983-0861　仙台市宮城野区鉄砲町72-2　ボヌールエスト
TEL ０２２（２９２）７１９１　FAX ０２２（２９２）７１９２

〔北陸営業所〕〒939-8136　富山県富山市月見町1丁目44番地
TEL ０７６（４２９）２６０２　FAX ０７６（４２９）２６０４

78/4643.1189　03/2010